

第3章

印西市の環境目標

- 3-1 印西市が目指す将来環境像
- 3-2 計画とSDGsの関連
- 3-3 将来環境像の実現に向けた基本目標と個別目標
- 3-4 将来環境像の実現に向けた施策の体系



第3章

印西市の環境目標

3-1 印西市が目指す将来環境像

本計画における将来環境像を次のとおり定めます。



本市は、里山や水辺などの豊かな自然環境に恵まれた地域であるとともに、千葉ニュータウンに代表される機能的・都市的利便性の高い地域を持つまちでもあります。

令和3（2021）年3月に策定された印西市総合計画では、本市の将来都市像として「住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで」を掲げており、受け継がれてきた良好な自然環境と質の高い都市基盤の中で、すべての市民が安心していきいきと活動し、生活の様々な場面で住みよさを実感できるまち、そして将来も住み続けたいと思うまちとすることを目標としています。

しかしながら、本市の魅力である自然環境は、産業構造や生活様式の変化などに伴う里山の荒廃、外来生物の侵入・定着、地球温暖化やそれに伴う気候変動などにより大きく変化しています。

本市の将来に向けては、里山・水辺をはじめとする本市を特徴づける自然環境を保全し、利便性のある都市機能を向上させ、自然と暮らしが調和した社会を構築するとともに、日常生活や事業活動のひとつひとつが環境と密接につながっていることを実感し、自然との共存を意識した行動を心がけることが重要です。

これらのことから、本計画においては「みんなで作る 自然と暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい」を本市の将来環境像として、市民・事業者・行政の三者協働により、将来環境像の実現に向けた取組を行っていきます。

3-2 計画とSDGsの関連

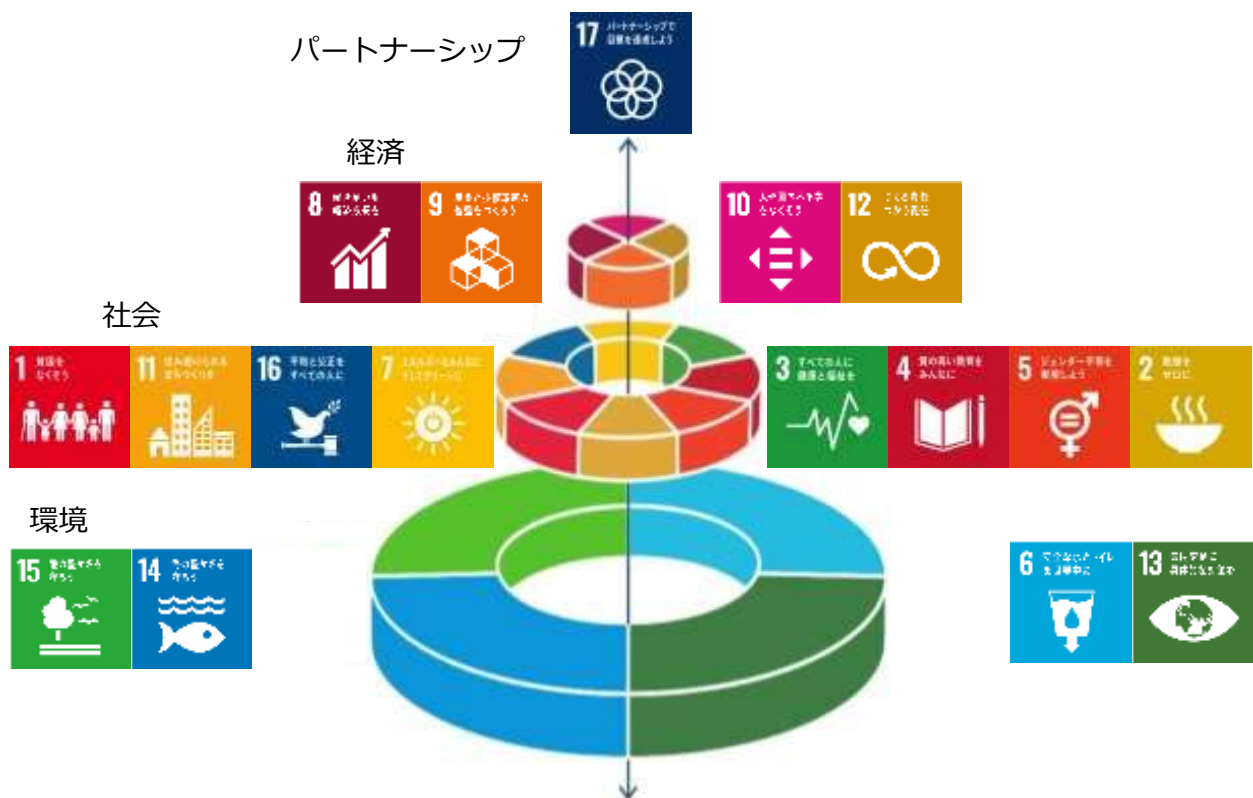
(1)SDGsの概要

SDGsとは「^{サステナブル} ^{ディベロップメント} ^{ゴールズ} Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」といいます。SDGsは「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と**包摂性***のある社会の実現を目指すものであり、先進国、開発途上国すべての国々を含めた全世界共通の目標です。

SDGsは17のゴールと169のターゲットで構成されています。17のゴールを3層に分類して総合的に整理した「SDGsのウェディングケーキ図」では、「経済」は「社会」に、「社会」は「環境」に支えられて成り立つという考え方を示しています。

SDGsのゴールとターゲットは相互に関係しており、総合的なアプローチを用いることで「環境」「社会」「経済」における複数の課題の同時解決を図る「マルチベネフィット」を目指す特徴があるほか、あらゆる主体が参加する「全員参加型」のパートナーシップの促進が掲げられています。

SDGsのウェディングケーキ図



資料：Stockholm Resilience Centre の図に追記

(2)環境基本計画におけるSDGsの位置づけ

SDGsの達成には国際機関、国、産業界、地方公共団体と一般市民が一丸となって取り組むことが求められており、地方公共団体は、市民・事業者との間でリーダーシップを持って取組を推進する必要があります。

本市の将来環境像「みんなでつくる 自然と暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい」の実現に向けて、本計画の各種取組と主に関連するSDGsの13ゴールを一体的に推進することで、複数課題の同時解決を図ります。

本計画の取組に関連しているSDGsのゴール

	<p>ゴール2： 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>		<p>ゴール3： あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>
	<p>ゴール4： 全ての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>		<p>ゴール6： 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
	<p>ゴール7： 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>		<p>ゴール8： 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>
	<p>ゴール9： 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>		<p>ゴール11： 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>
	<p>ゴール12： 持続可能な生産消費形態を確保する</p>		<p>ゴール13： 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>
	<p>ゴール14： 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>		<p>ゴール15： 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
	<p>ゴール17： 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化</p>		

出典：総務省

3-3 将来環境像の実現に向けた基本目標と個別目標

本市の将来環境像を実現するために、5つの分野の基本目標と個別目標を次のとおり定めます。

市民・事業者・行政の協働により、自然と暮らしが調和した快適でやさしいまちの実現を目指します。

印西市総合計画

【将来都市像】
住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで



3-4 将来環境像の実現に向けた施策の体系

5つの分野の基本目標と個別目標の達成に向けた施策の体系を次のとおり示します。

また、本計画に関連する主なSDGsのゴールを整理しました。各施策とSDGsのゴールを関連付け、相互の目標達成に向けた一体的な取組を進めます。

将来環境像

基本目標

みんなでつくる 自然と暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい

1. 自然環境

豊かな自然の恵みを受け潤いと安らぎを感じられるまちづくり



2. 生活環境

安心して快適なずっと住み続けたいと思えるまちづくり



3. 循環型社会

限りある資源を有効に活用した持続可能な美しいまちづくり



4. 脱炭素社会

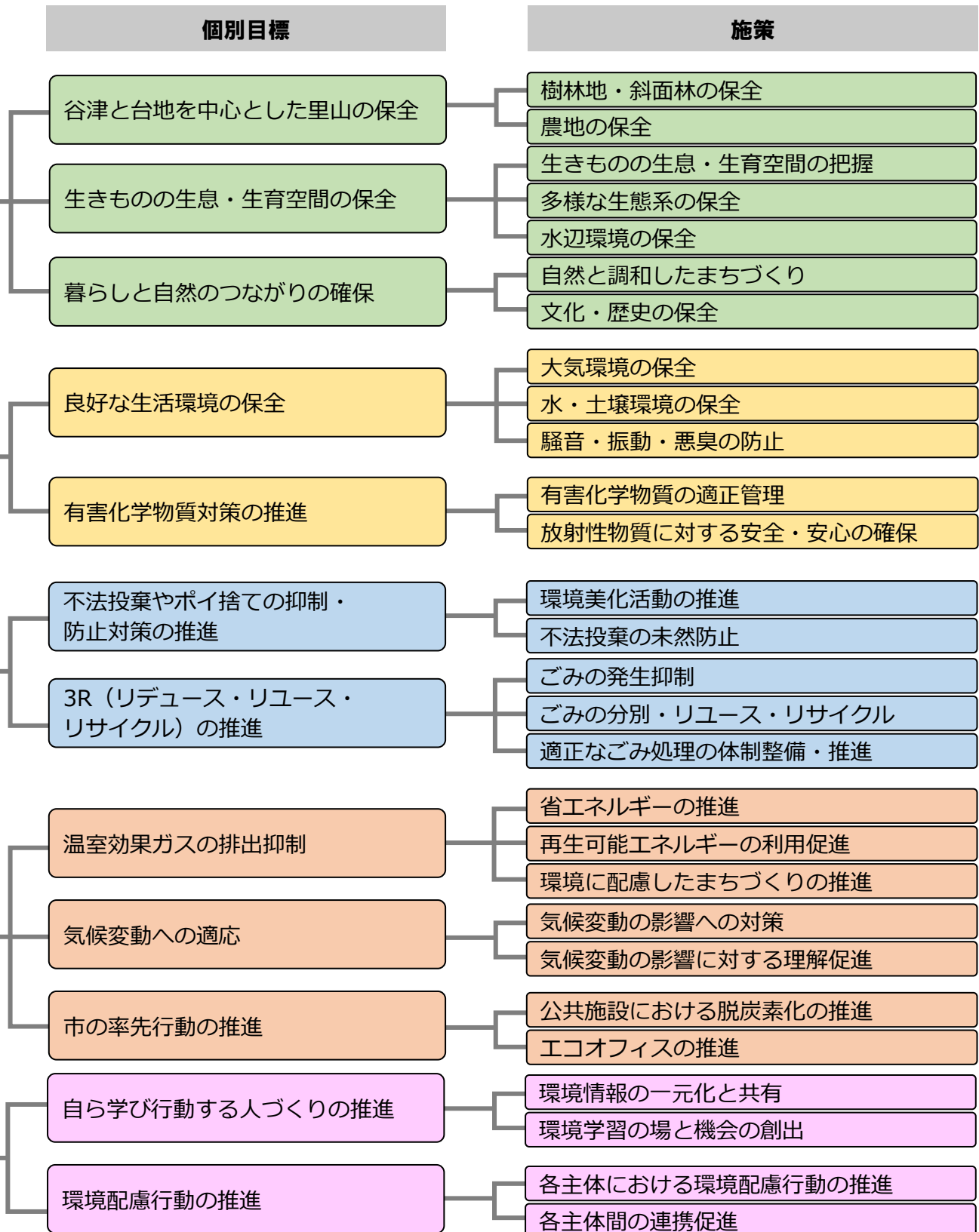
カーボンニュートラルの実現に向けた地球環境にやさしいまちづくり



5. 人づくり

パートナーシップを構築し協働で環境保全に取り組むまちづくり







小倉地区の田園風景